



ふたりのスーパースター

Vivaldi & Viardot

～イタリアン・バロック音楽の巨匠と19世紀フランスの歌姫～

ヴァイオリン:大津 純子 ピアノ:岡田 知子

お話:末吉 竹二郎 (国連環境計画・金融イニシアティブ特別顧問)

*アントニオ・ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集『和声と創意への試み』
作品8より〈四季〉から『秋』『冬』

*フレデリック・ショパン:夜想曲第20番 嬰ハ短調 (遺作) ～N.ミルシュタイン編

*ポリヌ・ガルシア=ヴィアルド:ソナチネ ほか



(ゲストによるお話) 日本の“四季”は大丈夫?～温暖化で地球に今なにが起きている?!

2014.10.25(土) 午後5:00開場 午後5:30開演

代官山ヒルサイドプラザ 料金 6,000円(レセプションでのオードブルとドリンクス付き)

Vivaldi & Viardot

ふたりのスーパースター

〈曲 目〉

- *アントニオ・ヴィヴァルディ:
ヴァイオリン協奏曲集『和声と創意への試み』作品8より〈四季〉から『秋』『冬』
Antonio Vivaldi:
from Violin Concerto 〈The trial of harmony and invention〉Op.8 No.3 Autumn & No.4 Winter
- *フレデリック・ショパン:夜想曲第20番 嬰ハ短調(遺作)〜N.ミルシュタイン編
Frédéric Chopin: Nocturne No.20 c# minor (Posthumous) arranged by N. Milstein
- *ポリーヌ・ガルシア＝ヴィアルド:ソナチネ
Pauline Garcia-Viardot: Sonatine

ほか

大津 純子 (Junko Ohtsu)

東京芸術大学、米国ジュリアード音楽院卒業。ジュリアード音楽院在学中にジュネス・ミュージカル・インターナショナル、及び、カーネギー・ホール両者による招待にてニューヨーク・デビュー。ニューヨーク・タイムズ紙上、音楽評論家レイモンド・エリックソン氏より、「卓越した演奏」「将来を大きく期待される音楽家」と高い評価を受け、以後、ニューヨークを拠点に、本格的な米国内外での演奏活動を開始。

セントルイス交響楽団、シモン・ポリバル・ヴェネズエラ国立オーケストラ他との共演、リサイタル・プログラム〈The Artistry of Junko Ohtsu〉は、パブリックTVネットワークにて全米30都市以上に放映、また米国各地でのラジオ放送出演も数多い。ロックフェラー三世財団より2年間に亘り特別グラント受賞。国際交流基金派遣にてロシア、チェコ、フィリピン、ベトナム、オーストラリアなど、欧州、アジア、中南米諸国にて公演し、絶賛される。『ヴァイオリンの詩〜ベル・エポック』、スペイン音楽選集『マラゲーニャ』(各・日本フォンテック)、『Prelude to a Kiss』(BAJ Records)などCD5枚をリリース。『マラゲーニャ』収録曲のE.グラナドス:ヴァイオリン・ソナタは、「素晴らしい録音・・・」(音楽評論家・諸石幸生氏)と評価高い本邦初録音となる。また、アメリカ女流演奏家と構成する Ecco Trio (ピアノ・トリオ) によるアルバム『アメリカ』は、〈レコード芸術〉誌「室内楽準推薦盤」に選出された。

Violin

2011年2月、東北民謡集DVD『あいの風〜Wind from Northeast』をプロデュース、リリース(この収益全額は東日本大震災復興のために寄付)。その意想外な企画と、ヴァイオリンによる津軽・南部地方の民謡(編曲)演奏の新鮮なアプローチは称賛的となる。

2002年、自ら企画・プロデュースした室内楽シリーズ『Good Old Days 〜アメリカの〈素敵な時代〉』は、日本のクラシック音楽シーンの盲点であった「知られざるアメリカ」にスポットを当てた意欲的な好企画として各界より注目を浴びる。2004〜11年、イラストレーター・和田誠、ジャズピアニスト・佐藤彦彦氏とともにジャンルを超えて音楽を楽しもう、という意図のもと、『Junko and the Night and the Music』シリーズを開催。3人の異なるバックグラウンドを生かしたユニークな企画は好評を博す。2005年12月より《大津純子・心のコンサート》を年2回展開中。

2012年、新シリーズ《純子の音楽ミニ・キャラバン》(小さなお子さん・学生さん対象に「音楽の楽しみ」を届ける出張演奏会)を開始。また、2000年より毎秋、国立情報学研究所主催による《軽井沢土曜懇話会》(情報工学における権威、故・猪瀬博氏開設)に招かれてレクチャー・コンサートを行っている。現在、コンサート・プロデュース、執筆、講演の分野にも活動の場を広げている。

岡田 知子 (Tomoko Okada)

東京芸術大学器楽科を卒業後、北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルトに留学。声楽の伴奏と器楽アンサンブルを学び、同校を首席で卒業。1977年1月、ベルリン・メンデルスゾーン・コンクール:ピアノ・トリオ部門第1位入賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール:ピアノ・トリオ部門第2位(1位空席)およびスイス特別賞受賞。

現在、アンサンブル・ピアニストとして内外演奏家との共演、CD録音、コンサート・プロデュースなど、多方面に活発な活動を続けている。



Piano

末吉 竹二郎 (Takejiro Sueyoshi)

長年の金融界での経験をバックに「金融と地球環境問題」をテーマに、金融のあり方やCSR経営などについて、講演、著書などで啓蒙に努める。国連環境計画・金融イニシアティブの特別顧問の他、各種審議会の委員や地方自治体のアドバイザー、東京大学大学院非常勤講師なども務める。1967年に三菱銀行(現・三菱東京UFJ銀行)入行。取締役NY支店長などを経て、1998年、日興アセットマネジメント副社長に就任。2002年の退任を機に環境問題に本格的にかかわる。2008年〜09年、福田・麻生両首相の下におかれた「地球温暖化に関する懇談会」の委員を務めた。主な著書に、「地球温暖化講義」(東洋経済)、「グリーン経済最前線」(共著、岩波新書)他がある。

Guest

2014.10.25(土) 午後5:30開演／代官山ヒルサイドプラザにて／料金 6,000円(レセプションでのオードブル・ドリンクス付き)

【会場】



【ご予約】大津純子室内楽実行委員会 TEL&FAX: 03-3486-8740

FAX用ご記入欄

お名前

ご連絡先

ご住所

名

ネットでもお申込みできます。▶ <http://www.junko002.com/>